

洲崎町内会 土曜日より
17.2.06
岩本

洲崎青年団の活動記録展示会のお知らせ

洲崎の若者たちが輝いた時代、大正～昭和前期～を日常の記録で振り返ります。

日時 平成29年2月19日(日)午前10時～午後3時

場所 洲崎町内会館

*展示会開催までの経緯

戦後70年の節目に当たる平成27年の暮れ、町内の旧家から町内会あてに古い資料が持ち込まれ、町内会にて整理の結果、資料は大正時代から昭和前期(戦前迄)の金沢区青年団及び、同洲崎支部の活動記録であることが判明しました。

町内会ではこの貴重な資料の有効活用を検討の結果、横浜市史資料室に寄託し、次世代の市民に引き継いでいただくことといたしました。

横浜市史資料室は、昭和初期の横浜に関する資料の収集、保管、調査、研究、及び公開を行っている機関です。

この度は寄託に先立ちまして、洲崎の若者達の活動の一端を地元洲崎及び、関心をお持ちの方々にご披露させていただくものです。

ぜひ、多くの皆様にご来場いただけますよう、ここに、ご案内申し上げます。

洲崎町内会 文化部主催

<この当時の金沢区、洲崎の出来事>

- 明治43年 * 平潟湾の塩場は、塩専売法の施行により、廃止される。
- 大正11年 * 金沢村耕地整理組合が旧塩田の開拓目的で設立される。
* 神奈川県青年団連合が結成され、各地で青年団活動が活発化する。
- 大正12年 * 9月に関東大震災発生、金沢村は大きな被害をうける。
洲崎の被害: 全戸173戸のほとんどが全半壊。
- 大正15年 * 1月、久良岐郡金沢村が、金沢町となる。
- 昭和2年 * 平潟湾の土砂を使い塩田跡地の埋立て造成が完成。
- 昭和5年 * 湘南電気鉄道(現、京浜急行電鉄)が、黄金町～浦賀、
金沢八景～逗子間に開通、金沢八景駅、金沢文庫駅開業。
- 昭和6年 * 湘南電鉄が、乙舩海岸に海水浴場を開設。
- 昭和9年 * 富岡町に、日本飛行機(株)が設立、以降、金沢区内に
軍需工場や、海軍施設が続出し兵器生産の場と、変わって行く。
- 昭和11年 * 横浜市磯子区金沢町となり、久良岐郡は消滅する。
- 昭和12年 * 日中戦争起こる。
- 昭和16年 * 太平洋戦争起こる、青年団活動も軍事色に影響される。

<展示する資料について>

- 1 規約綴
- 2 団員名簿
- 3 団員奨励規約および出席簿
- 4 団員出席簿
- 5 収支決算書
- 6 記録簿
- 7 会誌綴
- 8 活動記録
- 9 夜警日誌
- 10 写真
- 11 海水浴休憩所設置関係書類
- 12 封書、葉書
- 13 褒状
- 14 「武相の若草」
- 15 腕章
- 16 雑書綴